

やまきたまち 議会 だより

議会のおと

P2～3 …新たなメンバーでスタート
P4～8 …ここが聞きたい！予算審査
P18 …聞かせて！山高生の声



議会ホームページは
こちらから

躍動するソーラン山北 輝け元気っ子
スマイリーキッズ（関連記事は裏表紙に）

で始動 議会人事決まる



和田 成功 議員



池谷 仁宏 議員



瀬戸 伸二 議員



高橋 純子 議員



瀬戸 恵津子 議員



大野 徹也 議員



富田 陽子 議員



府川 輝夫 議員



熊澤 友子 議員



児玉 洋一 議員

広報広聴委員会				足柄上衛生組合議会議員	
委員長	児玉 洋一	委員	大野 徹也	石田 照子	
副委員長	池谷 仁宏	委員	富田 陽子	富田 陽子	
委員	和田 成功	委員	府川 輝夫	足柄西部清掃組合議会議員	
委員	瀬戸 伸二	委員	熊澤 友子	石田 照子	
委員	高橋 純子	委員	遠藤 和秀	遠藤 和秀	
委員	瀬戸 恵津子			大野 徹也	

第2回臨時会 (5月12日開催)

新たなメンバー

議長 石田 照子



丹沢山系の新緑が燃えるように美しい5月12日の初議会におきまして、36代議長に就任いたしました。

責任の重さを考えますと身の引き締まる思いでいっぱいですが、先輩議員の皆様が築き上げてこられました伝統の重みをしっかり受け継ぎ、議会の更なる活性化に努め、町民の負託に応えられる議会をめざします。

山北町では、初の女性議長でもありますので、歩く広告塔としての宣伝効果も併せ、町のPRと活性化にお役にたてればと思います。

簡単ではございますが、町民の皆様のご指導とご協力をお願い申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

副議長 遠藤 和秀



この度5月12日に開催された臨時議会において副議長に選任され、責任の重さを感じているところです。

前期にはあり方検討委員会委員長を務めてまいりましたが、その経験を活かし、新体制の中で議長のサポートをし、議会活動が円滑に機能するよう努力してまいります。

今後も更なる議会改革が必要です。「見える化・見える化」を継続していき、町民の声に耳を傾け、町政に反映させてまいります。魅了と活気あるまちづくりをしていくため、より一層のご指導とご協力をお願い申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

正副議長 選挙の結果

議長選挙

石田 照子 10票 児玉 洋一 1票
瀬戸 恵津子 1票

※有効投票 12票
無効投票 0票

副議長選挙

遠藤 和秀 9票 瀬戸 恵津子 1票
和田 成功 1票 児玉 洋一 1票

※有効投票 12票
無効投票 0票

議長 石田 照子	副議長 遠藤 和秀	監査委員 瀬戸 恵津子
議会運営委員会	総務環境常任委員会	福祉教育常任委員会
委員長 和田 成功	委員長 大野 徹也	委員長 富田 陽子
副委員長 児玉 洋一	副委員長 児玉 洋一	副委員長 府川 輝夫
委員 大野 徹也	委員 和田 成功	委員 瀬戸 伸二
委員 富田 陽子	委員 池谷 仁宏	委員 高橋 純子
委員 府川 輝夫	委員 瀬戸 恵津子	委員 熊澤 友子
委員 熊澤 友子	委員 遠藤 和秀	委員 石田 照子

令和5年度 予算可決

みんなで作る 魅力あふれる 元気なまち やまきたの実現にむけて

令和5年第1回定例会を3月3日から14日まで開催しました。

令和5年度予算総額、一般会計(52億4600万円)、特別会計、水道事業会計合わせて89億6303万円の予算案を審議し可決しました。

注目事業

ユネスコ無形文化遺産登録で
世界に向け「山北のお峰入り」
公開事業

1182万円



新婚さんを応援
住まいづくり応援事業

600万円



旧山北体育館代替施設建設に向け
体育施設整備事業

3350万円



15歳を18歳までに対象を拡大
小児医療費助成事業

2805万円



EVの導入で環境に配慮を
再生可能エネルギー導入推進事業

966万円



戸別受信機更新等助成を
自主防災対策事業

2594万円



ここが聞きたい



千エツク

予算審査

令和5年度 一般会計・特別会計・水道事業会計

89億6303万円

令和5年度の一般会計及び各特別会計・水道事業会計について、3月9日、10日の予算特別委員会（石田照子委員長）で審議した。主な質疑は以下の通り。



石田照子予算特別委員会委員長

物価高騰への対応は

物価高騰で、町民生活に支障が出ている。予算に支援策は盛り込まれているのか。また、次年度予算の見通しは。

町長 町民生活に支障が出ていることは認識しているが、地方自治体だけの支援は難しく、国の動向を見ていく。次年度予算は、年次途中でも流動的に動けるよう余裕を残した予算となっている。



個人町民税は減少しているが、法人町民税・固定資産税は増加予算となっている。要因は。

町民税務課長 法人町民税はコロナ感染症前の生活に戻りつつある点を考慮して令和5年度増額を見込んでいる。また、固定資産税は企業立地の軽減措置が令和4年度で終了することや、新東名工事が延期になったことなどが要因である。

委託に頼らず職員の手で

事業計画策定には、職員の知見を積み重ねるためにも、できることは自分たちで実施するべきでは。

企画総務課長 業務量が多く、専門家による分析も必要である。しかし、職員自らが計画策定に関わることも重要であるため、事業内容を精査し、経費削減に努めていく。

防犯カメラで安心して遊べる公園へ

丸山公園・平山のびのび公園へ防犯カメラが設置されるが、設置時期と整備内容は。

都市整備課長 防犯カメラは5基の遊具と同時期に設置する。今後、丸山公園の整備は小学校側の法面を整備し、平場を拡張していきたい。



丸山公園 「富士山がきれいだね〜」



隠れた桜の名所 平山のびのび公園

旧体育館代替体育施設建設 木材の町で活性化を

体育施設整備事業費
が予算計上されたが、
施設規模としては費用
が多過ぎる。事業内容
はどのようなものか。

代替施設は、町産材
を使用することだが、
どの程度使用する
のか。

生涯学習課長 新型コロナウイルス感染症の影響で見送っていた旧体育館代替体育施設は、林野庁の補助金を活用し、町産材を使用した施設の建設を考えており、令和4年度は基本設計を行っている。森林の町ならではの木造施設とすることで、SDGsや環境にも配慮でき、木育にも効果的だと考える。この事業は木材利用の取り組みも注目を集め、町の活性化や林業振興にもつながると思うが、予算も限られているため、コスト削減には努めていく。なお、事業費には建築工事で使用する木材の調達費用も含んでいる。

生涯学習課長 100%近くの町産材の使用を見込んでいる。重ね梁工法を採用し、特注の木材ではなく、市場に出回る材料を使用するような設計を進めている。



外観イメージ図

間伐材搬出奨励金に着目

間伐材搬出奨励金が
計上されているが、木
材の搬出量はどのくら
いになるのか。

農林課長 5か所から
1260立方メートルの
間伐材が搬出される予
定である。



町産材100%の使用を期待する

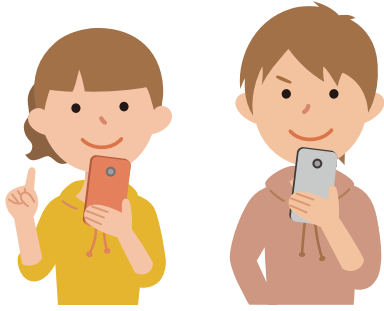


奨励金を活用し継続的な搬出を

EVの導入で 環境に配慮を

EV急速充電設備
上料と、電気自動車
上料の具体的な内容は、

環境課長 役場駐車場に急速充電器を設置し、電気自動車1台をリースしたいと考えている。EV技術は急速に進歩しているので、リースとし、10月導入を予定している。



デジタル対応の防災無線機導入とともに、防災アプリも検討すべきでは。

防災アプリの導入を

地域公共交通会議では、委託料の見直しと、広域的な観点での検討をすべきでは。

委託料の見直しを

地域防災課長 あんしんメールの加入率が約30%と低いため、アプリを導入してもアプリに移行する方が少ないと予測できるので、まずは、あんしんメールの加入率を上げる努力をする。

企画総務課長 町の公共交通は、循環バス・スクールバス等が単独で走っている。会議では、総合的に検討するので、経費も見直されてくるものと考えている。

「山北のお峰入り」ユネスコ無形文化遺産に登録

山北のお峰入り記念公演はどのような公演になるのか。



生涯学習課長 令和5年10月8日に記念公演を行う。川村小学校で公演を行い、山北駅前商店街で道行を行った後、共和地区の神明社で奉納公演を行う。入場できない方には、パブリックビューイングやスマートフォン、パソコンなどからライブで視聴できるように検討している。

「山北のお峰入り」として継続していただきたいが、今回は、国庫負担金や保存会等から財源が確保されている。しかし、今後継続させていくための財源はどう確保するのか。

町長 町として支援していく考えである。財源については、保存会とも調整しながら、ふるさと納税等も視野に入れ財源に充てていきたい。

教育長 伝承者の人材確保などの課題もあるので、ユネスコ無形文化遺産に登録されたことを機に、様々な課題について検討が必要と考える。



若い世帯の 移住促進を

多くの若い方に住んでいただきたいが、結婚新生活支援事業とはどのような内容なのか。

定住対策課長 令和5年度からの新たな取り組みであり、本年、4月1日から3月31日の間に婚姻届けが受理された39歳以下の世帯に対する新生活を応援する事業である。

年収に制限はあるが、新居購入費、アパート等の家賃や敷金・礼金・仲介手数料、新居のリフォーム費用や引っ越し費用が対象となる。

また、補助額は夫婦ともに39歳以下の世帯が上限30万円、29歳以下の世帯が上限60万円である。

支援は確実に 届くように

生活困窮事業の予算が減額となっている。支援を必要としている方に確実に届くのか。

福祉課長 フードドライブ(※)を実施しているNPO法人から定期的に食糧品が届き、町では、米など足りない分を購入する。本当に必要としている方に届くよう、民生委員や地域包括支援センター等と連携を図っている。

※フードドライブとは 各家庭で使い切れないう未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設などに寄贈する活動のこと

子育てにやさしいまち山北

小児医療費の助成対象が18歳まで拡大されるが、開始時期と対象となる条件は。

福祉課長 今後、町から送付する申請通知で、申請していただくため、開始時期は6月診療分からになる見込みである。なお、婚姻や就職の有無は問わない。

上郡5町広域で病児保育を実施しているが、負担金が増となっている要因は。

福祉課長 令和5年度からは、負担金の算出方法が利用実績を重視した算出方法に変更となったため増額となった。利用者は全体では241名、山北町では21名の方が利用している。



開成町にある病児保育施設

要支援者情報の更新は迅速に

避難行動要支援者支援事業は、災害弱者の方が避難できる仕組みであるが、情報共有や更新は的確にされるべきでは。

福祉課長 情報の更新については、現況調査や施設入居状況などを確認し、名簿を更新しているが、リアルタイムで情報共有ができるよう努力する。

特別会計

水道事業

町の地形は山間部であり広大なため、水道事業にかかわる職員には、知識や経験が求められる。

技術をつなぐためには人材育成が重要であると思うがどうか。

町長 水道事業の広域化が言われているが、簡易水道については、町単独で実施するため、知識や経験を持った職員が大事になってくると考えている。

特別会計

国民健康保険

糖尿病性腎症重症化予防事業とは。

保険健康課長 スマートフォンで健康管理をするもので、保健師が健康状態を確認しアドバイスすることで重症化を防ぐことが出来る。

3月定例会(3月7日)

予防接種

予防接種事業が500万円減額されている。町民の健康を守る重要な事業と思うが。

保険健康課長

コロナの影響もあり子どもの接種率が低調だが、母子保健事業で接種の確認による接種率の向上を図り、予防接種を必要とする全町民の接種率を向上させ健康を守る。

スクールバス運行

スクールバスの運行事業900万円減額の理由は。

こども教育課長

当初予算編成後に、運行バスについて入札により運行業務委託の減額が図れたことと、コロナの影響による中学校の部活便で朝の一本が減少したこと。



防災対策

防災対策事業のデジタル戸別受信機設置業務委託料が66万円減額となっているが、更新が必要な方への周知はどうか。

地域防災課長

当初44世帯の戸別受信機を設置する予定であったが、設置希望者の減少により減額となった。令和5年度6年度も更新作業を進めるにあたり、対象者への周知を徹底する。

商工振興

中小企業・小規模事業者等持続化補助金が473万円減額された要因は。

商工観光課長

見込みに対する申請実施の減少や、上限額に満たない申請があったことによるもの。

議員発議

議会の個人情報の保護に関する条例の制定 個人の権利利益を保護することを目的に、議会における個人情報適正な取り扱いに関して、必要な事項を定めた。

議会広報広聴委員会

議会の定数が5月から14人から12人になることに伴い、本条例における新たな仕組みを整える必要が生じたため改正した。

【改正内容】

- ①副委員長が2人から1人へ
- ②分科会及び費用弁償の廃止

町議会 YouTubeチャンネル

一般質問などの動画を配信していますので、チャンネル登録をお願いします

賛成

未来へつなげる施策を確認

藤原 浩

令和5年度は、経済活動において回復に向かう可能性はあるが、新型コロナウイルスの影響が自治体経営にどう影響を及ぼすかわからない懸念があり、不測の事態に対応する予算編成とした町長の考えは理解できる。

人口減少社会で税収の減少懸念に対し、投資的予算が少なく歳入の柱となる施策に乏しいこと、計画策定の外部委託の多さ等指摘事項もあったが、旧山北体育館代替施設で町産材100%の建設計画等、未来へつなげる施策が確認できた事実により、本予算に賛成する。

商業の灯を消すな

清水 明

昨年、長らく町の商業を担ってきた商店振興会が解散し、山北駅を中心とする商店が姿を消している。

駅周辺の空洞化が進み、近場での買い物事実上できなくなる恐れがある。町内の商店を救済するべくプレミアム付き商品券の発行を町は継続してきたが、利用者には好評でも、町内の商店救済にはつながっていない。商工会も巻き込んで町内の商店の生き残り策の見えない予算案に反対する。

反対

令和5年度一般会計当初予算:賛成反対討論

議の結果

第1回 臨時会 (2月14日)

件名	審議結果	件名	審議結果
令和4年度一般会計補正予算 (第10号) ・主に出産子育て応援交付金やふるさと応援寄附金に係る歳入歳出の増で、歳入歳出総額にそれぞれ9047万円を追加し、予算の総額を65億4762万円とする	可決		

第1回 定例会 (3月3日～14日)

件名	審議結果	件名	審議結果
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定 ・職員に支給する手当の一部改定及び令和4年の人事院勧告に基づく職員の給与改定に伴い、改正するもの	可決	令和4年度商品券特別会計補正予算 (第4号) ・プレミアム付き商品券の確定見込みによる減で、歳入歳出それぞれ495万円を減額し、予算の総額をそれぞれ2億4461万円とする	可決
小児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定 ・小児医療費助成事業対象者を拡充することに伴い、改正するもの	可決	令和5年度一般会計予算 ・予算の総額を52億4600万円とする	可決 (賛成多数)
国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定 ・健康保険法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、改正するもの	可決	令和5年度国民健康保険事業特別会計予算 ・予算の総額を14億2740万円とする	可決
令和4年度一般会計補正予算 (第11号) ・歳入の主なものは、国・県補助負担金の確定見込み等による変更で、歳出の主なものは各事業費の執行見込みによる減額で、歳入歳出それぞれ4029万円を追加し、予算の総額を65億8790万円とする ・(仮称)山北スマートインターチェンジ新設事業工事等細目協定について、債務負担行為の補正、新東名対策事業他2事業について繰越明許費の設定をするもの	可決	令和5年度後期高齢者医療特別会計予算 ・予算の総額を2億49万円とする	可決
令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第3号) ・主に確定見込み等による県支出金、保険給付費の減額で、歳入歳出それぞれ3504万円を減額し、予算の総額を13億9606万円とする	可決	令和5年度下水道事業特別会計予算 ・予算の総額を4億1933万円とする	可決
令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号) ・主に後期高齢者医療広域連合納付金の減で、歳入歳出それぞれ102万円を減額し、予算の総額を2億521万円とする	可決	令和5年度町設置型浄化槽事業特別会計予算 ・予算の総額を4846万円とする	可決
令和4年度下水道事業特別会計補正予算 (第4号) ・酒匂川流域下水道管理事業費負担金を補正するもの ・排水施設整備事業について繰越明許費の設定をするもの	可決	令和5年度山北財産区特別会計予算 ・予算の総額を551万円とする	可決
令和4年度町設置型浄化槽事業特別会計補正予算 (第2号) ・主に浄化槽設置事業の減で、歳入歳出それぞれ1941万円を減額し、予算の総額をそれぞれ2873万円とする	可決	令和5年度共和財産区特別会計予算 ・予算の総額を4245万円とする	可決
令和4年度介護保険事業特別会計補正予算 (第3号) ・主に確定見込み等による保険給付費の減で、歳入歳出それぞれ6277万円を減額し、予算の総額をそれぞれ12億8243万円とする	可決	令和5年度三保財産区特別会計予算 ・予算の総額を580万円とする	可決

議案等審

件名	審議結果	件名	審議結果
令和5年度介護保険事業特別会計予算 ・予算の総額を12億8091万円とする	可決	固定資産評価審査委員会委員の選任 ・固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、選任するもの「三尋木昭治氏」	同意
令和5年度商品券特別会計予算 ・予算の総額を822万円とする	可決	人権擁護委員の推薦 ・人権擁護委員の任期満了に伴い、推薦するもの「秋山世津子氏」	同意
令和5年度水道事業会計予算 ・予算の総額を2億7847万円とする	可決	議会の個人情報の保護に関する条例の制定 ・議会における個人情報の適切な取り扱いが確保されるよう条例を制定するもの	可決
指定管理者（公募施設）の指定 ・町立きこの園の指定管理者の指定 「山北町森林組合」	可決	議会広報広聴委員会に関する条例の一部を改正する条例の制定 ・議会議員の定数を定める条例の一部改正に伴い、改正するもの	可決
指定管理者（非公募施設）の指定 ・町立山北診療所及び町立中川温泉ぶなの湯の指定管理者の指定 山北診療所「公益財団法人 地域医療振興協会」 中川温泉ぶなの湯「山北町観光協会」	可決	令和5年度土地開発公社事業計画及び予算 ・山北町土地開発公社理事会において承認された事業計画及び予算の報告	報告のみ

第2回 臨時会（5月12日）

件名	審議結果	件名	審議結果
令和5年度一般会計補正予算（第2号） ・主に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業などによる増額で、歳入歳出それぞれ3804万円を追加し、予算の総額を53億2155万円とする	可決	専決処分の承認（令和4年度一般会計補正予算（第12号）） ・地方譲与税、地方交付税などの額の確定に伴い、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したもの	承認
監査委員の選任 ・「瀬戸恵津子氏」 ※監査委員の選任について、瀬戸恵津子議員は当事者のため採決に加われません。	同意	専決処分の承認（令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）） ・県支出金の減少に伴い、財政調整基金から繰入れを行うため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したもの	承認
専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部を改正する条例） ・国民健康保険法施行令等の改正に伴い急施を要するため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したもの	承認	専決処分の承認（令和5年度一般会計補正予算（第1号）） ・新型コロナウイルスに係るワクチン接種を早期に実施する必要があるため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したもの	承認

☆賛成・反対があった議案（第1回定例会）

議案件名	議員名（議席順）												
	瀬戸恵津子	藤原浩	和田成功	熊澤友子	鈴木登志子	瀬戸顯弘	瀬戸伸二	清水明	大野徹也	遠藤和秀	堀口恵一	富田陽子	石田照子
令和5年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	欠	○

※○は賛成、●は反対を表しています。児玉洋一議長は、採決に加わりません。

計画の詳細はこちらから

この計画では、大規模災害等発生時に、町民ニーズの反映に資する議会の機能維持を図るため、必要となる組織体制や議会や議員の役割、また行動の流れなどについて定めています。

議会では、近年頻発している自然災害や新型コロナウイルス感染症等が発生していることを受けて、大規模災害や感染症の大規模流行等が発生した場合の行動指針となる議会業務継続計画（議会BCP）を策定しました。

議会業務継続計画 (BCP) を策定

問 子どもにやさしいまちづくりを

答 教育・保育環境の充実を図っていく



和田 成功 議員

動画は
こちら
➔



三園運営協議会

人口減少社会において、当町も少子高齢化、生産年齢人口の減少に歯止めがかからない現状がある。次代を担う子どもたちが健やかに育つことができる環境整備や、子育て世代が安心して子どもを産み育てることができる環境整備など、「こどもにやさしいまちづくり」を積極的に取り組むことにより、当町のイメージアップなどにも寄与すると考え、検証も兼ね改めて問う。

問 業務委託となった「やまきた児童クラブ」の運営において、安全安心な体制整備への取り組み状況は。

答 半期ごとに利用者アンケートを実施し、利用者ニーズの掘り起こしを行うなど、子どもの安全安心を第一に運営内容の充実を図っている。

また、即応性が求められる場面においても、町・学校・受託者により迅速かつ円滑に連携が取れるようになり、安全安心のレベルの引き上げにつながっている。

問 『0歳から15歳までの一貫教育・保育』の取り組みは。

答 令和4年度は「顔の見える関係」を合言葉に、2月末までに延べ140名の教職員が参加し、園、学校間の積極的な保育や授業の参観、研究会への参加、情報交換の場づくりを進めている。

問 移住定住の推進を

答 推進を図っていく

問 東山北1000まちづくり基本計画の進捗状況は。

答 みずかみテラスと町道水上2号線の整備が完了し、向原保育園の移転と道路整備を含めた土地利用計画の策定に向けて、検討を進めている。 今後は、水上地区と尾先地区について、土地利用研究会と連携を図りながら、土地利用の推進を図っていく。



民間主導による整備が予定されている水上地区（向原）



えんどう かずひで 遠藤 和秀 議員

動画は
こちら



問 介護申請を受けたら素早く対応しては 答 独自の新たな支援制度を検討する

町は他町より進んだ支援政策があるが、現行の国の保健福祉制度だけでは、細かな支援が受けられず安心して生活できるとは言えない。

町では、今後ますます高齢化が進み病気・ケガ等により、支援を必要とする方々が増加すると想定される。そこで質問する。

問 令和3年10月より、介護保険認定審査会の事務が足柄上衛生組合から南足柄市に移行したが、介護認定申請から結果がでるまでの状況に変更はあったのか。また、移行したことから問題が生じていないか。

答 移行したことによる問題は生じていない。むしろ、事務の効率化が図られている。

今後は要介護申請件数の増加が予想されるため、年間の審査会の回数や1回あたりの審査件数を増やすなど、審査会の円滑な運営について検討を進めていく。



廊下の手すり



介護保険利用ガイド

問 認定結果が出る前でも介護サービスが利用できることになっているが、現状では周知しきれているとは感じない。町民への周知をどのように展開していくのか。

答 急を要するような場合、例えば入院中で数日以内に退院するため、介護サービスを利用したい場合は、地域包括支援センターが個別に対応している。

周知はホームページ、高齢者宅への訪問時や民生委員への研修時などを通じて行っている。介護に関し困った時は、町や地域包括支援センターに相談してもらいたい。

問 病気・ケガ等で歩行困難になった場合など、突然の事態に対応できる独自の支援制度を制定しては。

答 独自の新たな支援制度を検討する。



階段の手すり

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 国道246号線の交通渋滞解消に向けた対策は

答 引続き国道の4車線化を要望する



おおの てつや 議員
大野 徹也

動画は
こちら



開通が待たれる新東名高速道路は、高松トンネル工事が難航し完成が遅れるが、その間にも国道246号線が渋滞し、地域住民の生活への影響が懸念されていると考え、その対策を質問する。



松田方面や岸地区から渋滞している宮地交差点

(※)「UTMS」とは
高度情報通信技術を駆使して直接渋滞を解消したり、路線バスや緊急車両をスムーズに運行させるための交通システム

問 宮地信号機の岸地区からの渋滞対策として、信号システムの改善を要求しては。

答 松田警察署では現状を変更する予定はないが、地元自治会からの要望もあり、少しでも改善が図れるよう今後も協議していく。

問 樋口橋信号機の交通渋滞で、神奈川県警交通管制センターの「UTMS」(※)による信号制御は可能か。

答 県内で「UTMS」での信号制御が可能な箇所は、横浜みなとみらい地区のみである。
樋口橋の渋滞問題は、ネクスコ中日本にも対策を講じるよう働きかけており、交通量調査の結果などを基に、地元自治会とともに松田警察署と協議しながら、渋滞の緩和に向け検討する。



宮地方面や山北町内・平山地区から渋滞している樋口橋交差点



上下線で渋滞している清水橋交差点

問 清水橋信号機での国道246号上下線の交通渋滞と、県道76号線スマートIC方面からの交通渋滞への対策は。

答 新東名高速道路建設工事は、現東名高速道路や国道246号線の渋滞解消に有効ではあるが、山北町の新たな玄関口のスマートIC開設により、新たな交通渋滞が懸念される。
今後も状況を見ながら清水橋交差点の県道側と国道側の信号待ち車線の2レーン化による渋滞緩和対策としての改築工事を国・県に要望し、併せて国道246号線の4車線化を要望していく。

問 任期を振り返り、4年間を検証する
答 各部署で取り組んでいる



しみず あきら 議員
清水 明 議員

動画は
こちら



4年間の任期を終了するにあたり、過去の質問に対する検証と今後の進捗状況及び新たな角度からの再質問をする。

問 旧山北体育館跡地の利用は、資材等の高騰で建設規模の縮小につながる心配はないか。

答 国庫補助事業として、県産木材を50%以上使用した木造施設とするために、基本設計を行っている。

問 LGBTを国の動向も踏まえて次期総合計画に取り入れる考えはないか。

答 人権尊重から、次期総合計画基本方針に位置づけていく。

問 地域防災リーダーの育成支援の進展は。

答 課題や問題を整理し、必要な組織や人材の育成に努めていく。

問 ヤングケアラー（※）等について、情報収集に漏れはないか。

答 ヤングケアラーについては小中学校とも連携を図り、相談と支援に取り組んでいく。

（※）ヤングケアラーとは
通学や仕事の傍ら、障がいや病気のある親や祖父母、年下のきょうだいなどの介護や世話をしている18歳未満の子どものこと



地域の心を結ぶおまつり

問 富士山火山の噴火に対する全町をあげて避難する際の避難計画策定の状況は。

答 富士山火山避難基本計画や富士山火山広域避難指針など、参酌すべき計画が年度末に確定したら速やかに地域防災計画を完成させる予定である。

問 自治会組織の再生には、広域避難時の共助が自治会再生につながるかと提案したが。

答 自治会は、防災・防犯に役立つ必要な組織と考えている。積極的な支援を継続しながら地域の活性化に努めていく。



いつまでも美しい富士のまま



ふじわら ひろし
藤原 浩 議員

動画は
こちら



問 人口減少社会の新たな自治体経営Ver2

答 基本的にはデータを基準に考える

人口減少社会の新たな自治体経営が求められる中、多様化し増大する住民ニーズに対し、税収減、財政運営は厳しくなっていくことを推計し、町の課題解決に向け以下の質問をする。

(※)EBPMとは、「証拠に基づく政策立案」のことで、国は官民データ活用推進基本計画で、県には策定義務とし、市町村は努力義務としている。
統計データ等を活用した取り組みは全国の地方自治体で、注目されている。

問

国が示すとおり、限られた予算と人員でより効果の高い政策形成をもたらすEBPM(※)を業務に取り入れ、官民データ活用推進基本計画策定を目標に、証拠本意の政策形成の手法を業務に取り入れるべきと考えるがどうか。

答

計画策定については、策定する予定はないが、統計データの利活用推進が、よりよい地域社会実現につながるものと理解している。積極的かつ実践的な統計データの活用により、EBPM推進が可能となるよう検討していく。

(※)インフラとは、上下水道道路、橋、学校、病院等、人々の暮らしを支える生活基盤をさす。
高度成長期以降に建設された老朽化施設増大について、全国的に問題意識が高まっている。

問

令和3年3月改訂の山北町公共施設等総合管理計画で、主な財源を町税としてあげている。人口減少の推移を考えると、さらに厳しい財政状況が考えられる。施設等管理について明確な根拠を示し、適切な修正等を行い進めるべきである。

(※)への取り組みは。

答

公共建築物については、集約や他市町との連携による統廃合により、総量削減を前提に計画的保守を実施。インフラ資産については、点検・調査の上保守管理を行い、コスト低減や平準化を進める。
広範囲にインフラが存在することを考え、計画見直しについては、町税を主軸財源とし世代間で公平な負担となるよう適正化を見据えた見直しを前提とし計画期間内においても、随時見直しを検討する。



公共建築物や道路橋梁等の社会インフラ管理は、地域の実情を考え、存続や統廃合等についてさらに丁寧な議論が求められる

原稿は、質問者本人が作成しています。

1/20 小田原百貨店

- ◆小児医療を18歳まで拡大してほしい。
- ◆政務活動費って何なのか。

2/20 山北駅前 Cafe NICO

- ◆若い世代を増やす対策として、育児、支援センターの受付時間の検討、保育園の利用時間を延ばすなどしてほしい。
- ◆外国人に日本語を教える人材を確保すべきでは。
- ◆耕作放棄地、空地の活用など農業をやりたい人への対応をするべきでは。
- ◆サンライズ山北近くに子どもの遊べる場が欲しい。

3/20 小田原百貨店

- ◆政務活動費の使い方は明確にできるのか。
- ◆山北駅周辺の店舗の減少で、買い物難民が増えてしまう。何か対策を考えるべきではないか。

おしゃべり Cafe

やまきた町議会

議会は5月から新たな体制でのスタートとなりました。今後も皆さんの声を幅広く伺っていきます。



※当日の様子など記載したおしゃべり Cafe 通信はホームページでご覧いただけます。



まかせて 山高生の声

山北高校の生徒43名の皆さんに「議会のおと211号」を読んだご意見、感想を寄せていただきましたので一部を紹介します。

なお、いただいたすべてのご意見等は町のHPに掲載します。



全感想はこちらから

- ★ 災害発生直後の初動対応の課題を厳密に組み立てて、町民を守るため日頃から体制整備を進めていると思った。みんなの町はみんなで守ると書かれており、地域の人々と協働して町を守るうという意思が伝わってきた。
- ★ 一般質問の記事は、議員の方々を一人ひとりピックアップし、その方がどのような考えをし、どの様に取り組んでいるかよくわかった。山北町の改善すべきところも理解することができた。
- ★ 必要とする方に生活必需品の支援は、生活に困っている方に提供してあげること負担を減らすことができ、優しい町であると思った。
- ★ 男性女性関係なく、子どもとの時間を大切にする方が重要だから、男性の育児休暇は必要だし賛成である。
- ★ 「山北柔道クラブの記事」タイトルの「試合に勝つ強さより人としての強さを」はサッカーをやっていた私も考えさせられる言葉だと思つた。
- ★ プレミアム商品券増刷について興味を持った。生活が苦しい人たちにに対し対策があつて、普通に生活できる人も苦しい人もメリットある政策だと感じた。

議会改革は「町民の議会への参加」

》 研修会レポート

議会では、住民福祉向上のため、さまざまな観点から議会改革に取り組んで参りました。今回、令和4年度最後の議員研修として、早稲田大学マニフェスト研究所・招聘研究員の亀井誠史先生をお招きし、「町民とつながる議会改革」、「議会への町民参加」をテーマに研修を受けました。

研修では、亀井先生の活



動と全国各地の事例を題材に、議会改革に結びつく取り組みについてお話を伺いました。特に興味深かったのが、「議会改革にはゴールがない」地方議会の議会改革には何をやるべきかという問いに対し「明確な答えはない」ということ、そして、これからの議会活動には「町民の議会への参加が重要になる」ということでした。

今後、研修で得た成果を住民福祉向上に役立てるよう活動してまいります。

“みんなの声で 議会のおとが もっと良くなる”

多様な声がつくる議会だより
モニターの方の声を聴き、住民が何に興味があるのか、何を求めているのか、議会だよりに活かし、より住みよい町にしていきたいと考えています。

No.212議会のおと 広報モニターアンケート

12名の議会広報モニターの皆様から、前号のアンケートに回答していただきました。毎回沢山のご意見、ご指導、アイデアをいただき、すぐ取り入れられるものは早速編集に活かしております。すべてのご意見を載せられず残念ですが、一部をご紹介します。

表紙・裏表紙 について

- ◆「未来にジャンプ」の通り閉塞感を吹き飛ばす勢いを感じられる。
- ◆写真の団体と議会のかかわりをわかる表現があると良い。
- ◆裏表紙の町議会YouTubeチャンネルのQRコード、目立って良いと思う。

紙面について

- ◆おしゃべりCafeは意見を読むだけで町政のヒントになる。
- ◆YouTubeチャンネルができて良かった。
- ◆議会だよりを読んでもらうためには、住民の町政への意識づけが必要と思う。

審議結果について

- ◆わかりにくい言葉や意味の分からない言葉があった。
- ◆審議結果のスペースが広すぎ、半分にして別の記事を載せた方が良い。

一般質問について

- ◆動画配信が始まり、QRコードもついてる。
- ◆内容が、日々の困りごとから将来を見据えた質問と多岐にわたりが充実している。

その他

意見

- ◆議会の開催についてホームページ、その他の方法で目に付くよう、知らせたい。
- ◆移住者の声を伝えるコーナーがあったらいいと思う。
- ◆一般質問が義務ではなく任意で行われているなど、まだまだ議会のことには知られていないと思った。



これがQRコード→
スマホのカメラで読み取ると紙面等を見ることができます。



※全集計結果はホームページに掲載しています。

活きいきひろば

ダンスで心も身体も健康に！

スマイリーキッズ 代表

宗像幸枝さん



皆さんこんにちは。
私たちは、小学生の
ダンスチーム「スマイ
リーキッズ」です。

4月です。今年で24年になります。

当初は、町で子ども向けに開いた「体操教室」が好評で、ぜひ地域の子どものために継続してほしいと要望がありスタートしました。

少子化などによって現在メンバーは少なくなりましたが、曲に合わせて元気いっぱい身体を動かすことで体力が付き、姿勢も良くなり集中力もつき、更には人前で踊ることで自分に自信を持てるようになります。地域のイベントに参加することで町の方々ともコミュニケーションも取れます。このようにして、子どもたちが安全に楽しくダンスができるよう心がけて地域の皆さんと「笑顔と健康の輪」を広げていきたいと思えます。



編集後記

西丹沢のシロヤシオやミツバツツジが咲き誇り、山々の緑も色鮮やかな季節となった令和5年5月、山北町議会も12名の新体制でスタートしました。

全国的に進む人口減少に加え、超高齢化社会を迎える町の課題は山積しています。こうした課題解決に向け、町民の代表である私たち議会に求められる声は、この先さらに高くなります。

世の中ではコロナ禍と共にデジタル分野も急速に進み、新時代を迎えようとしています。広報広聴委員会も町民対話や議会YouTubeの活用など、新たな分野に積極的に挑戦していく所存です。

本号は3月定例会で審議した令和5年度予算など、旧体制で作成したものです。多様なご意見をいただき、今後の紙面づくりに活かしてまいります。

(児玉洋二)

議会の傍聴においでください

第2回定例会(予定)

6月13日(火)～

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ
議会事務局

75-3653

3月16日に発行した議会活動レポート2022における福祉教育常任委員会活動報告において、一部誤解を生じる文章表現がありましたので、次のとおり訂正させていただきます。

【訂正後】担当課が一元化されたこと以外効果が見えにくいのが今後に期待

【訂正前】担当課が一元化されたこと以外効果が見えない